

発信者：在沖米海軍艦隊活動、司令官

対象：全員

件名：環境方針声明

1. 在沖米海軍艦隊活動における事業は自然環境に様々な形で影響を及ぼす可能性があります。在沖米海軍艦隊活動では影響を及ぼす可能性を特定、管理するために EMS（環境マネジメントシステム）を導入しました。私たちの任務である自由を守ること並びに環境保全は、日々の業務に環境配慮を盛りこむことで構築される持続可能なミッションに向けた私たちの取り組みを一層強力にします。在沖米海軍施設に所属する職員、部隊支援下の組織、各部隊、契約業者は：
  - a. 既定の業務実行手法の中で計画、設計、調達の初期段階から自然環境への配慮を盛りこみ、環境への影響を最小限にとどめながら、現行および今後の任務即応性を最大限に高めます。
  - b. 日本環境管理基準（JEGS）の基準値をはじめとする現地の環境法規制の全てを満たす、もしくはそれよりも高い基準を満たし、同様に国防総省および米海軍の方針に準じます。
  - c. エコロジカル・フットプリント（人間活動が自然環境に与える負荷に関する分析・評価手法）数値を最小限に抑えるため、資源消費を減らし無駄遣いを控え、環境汚染の防止に努めます。
  - d. 目的と目標達成のために EMS を活用し、継続的な改善に取り組む文化を確立します。
2. EMS（環境マネジメントシステム）は任務に焦点を置きながらも、部隊の環境パフォーマンスの改善を目的とした環境保護の目標値設定、考察のための正式な枠組みです。米海軍をより強力にし、また健全な自然環境を創造するためには私たち一人ひとりが各種環境プログラムを積極的に支援し、環境への影響を減少させることが求められます。

P. M. DZIEKAN